いわき市役所 受付 -4.6.17 第 廃 号

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2022 年 6 月 17 日

いわき市長　　殿

提出者　株式会社フレッシュまるいち

住　所　福島県いわき市小名浜字元分15番地

氏　名　代表取締役社長　岡　寛孝

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0246-54-2101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フレッシュまるいち　小名浜工場
事業場の所在地	福島県いわき市小名浜字元分15番地
計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	生産売上金額　4,143百万円（前年度実績）
③ 従業員数	64人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・廃酸→委託焼却処理→埋め立て、ﾘｻｲｸﾙ化 ・廃プラスチック→委託焼却処理→埋め立て ・廃プラスチック→委託選別・破砕処理→ﾘｻｲｸﾙ化 ・汚泥→委託焼却処理→ﾘｻｲｸﾙ化 ・汚泥→委託脱水処理→埋め立て、ﾘｻｲｸﾙ化 ・ガラスくず・金属くず（蛍光灯）→委託選別・破砕処理→ﾘｻｲｸﾙ化 ・汚泥・金属くず（電池）→委託選別・破砕処理→ﾘｻｲｸﾙ化 ・金属くず→委託選別・破砕処理→ﾘｻｲｸﾙ化 ・混合廃棄物→委託選別・破砕処理→埋め立て、ﾘｻｲｸﾙ化

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

工場長 ・産業廃棄物の処理に関する各種事項の決定

→ 製造課 各ライン担当 ・作業現場の廃棄物の管理

→ 技術部 小名浜工場担当 ・処理業者の選定、契約の締結

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2021 年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 機械部品廃棄時は、金属とプラスチックを分別するようにしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄時の分別を継続する。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　　2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　　2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（　　2021 年度）実績】　別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙

(No.1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度 (2021年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	汚泥	ガラスくず、金属くず(蛍光灯)	汚泥・金属くず(電池)	金属くず	混合廃棄物	混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)	
排出量	198.31t	98.87t	1224.08t	0.02t	0.027t	10.85t	55.462t	3.67t	

(これまでに実施した取組)
①歩留改善による汚泥発生量の削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	汚泥	ガラスくず、金属くず(蛍光灯)	汚泥・金属くず(電池)	金属くず	混合廃棄物	混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)	
排出量	198t	80t	860t	0.02t	0.027t	10t	50t	3t	

(今後実施する予定の取組)
①歩留改善による汚泥発生量削減の継続

別紙

(No.1)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度 (2020年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	汚泥	ガラスくず、金属くず(蛍光灯)	汚泥・金属くず(電池)	金属くず	混合廃棄物	混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)	
全処理委託量	198.31t	98.87t	1224.08t	0.02t	0.027t	10.85t	55.46t	3.67t	
優良認定処理業者への処理委託量	3.46t		1122.89t	0.02t	0.027t		1.24		
再生利用業者への処理委託量		8.4t	1122.89t	0.02t	0.027t	10.85t	51.61		
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	194.85t	90.47t							

(これまでに実施した取組)　①委託先処理業者の現地確認を定期的に実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	汚泥	ガラスくず、金属くず(蛍光灯)	汚泥・金属くず(電池)	金属くず	混合廃棄物	混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)	
全処理委託量	198t	80t	860t	0.02t	0.027t	10t	50t	3t	
優良認定処理業者への処理委託量			850t	0.02t	0.027t				
再生利用業者への処理委託量		10t	850t	0.02t	0.027t	10t	50t		
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	198t	70t							

(今後実施する予定の取組)　①委託先処理業者の現地確認を継続して行う。